

平成18年度西海ブロック水産業関係研究開発推進会議  
 亜熱帯水産業研究部会 報告書

会議責任者	西海区水産研究所長
-------	-----------

- 1 開催日時及び場所 日時 平成18年11月8日 13:30～15:40  
 場所 西海区水産研究所大会議室（長崎市）
- 2 出席者所属機関及び人数 3機関 16名
- 3 結果の概要

議 題	結果の概要
1. 開会	西海区水産研究所石垣支所長が開会を宣言。
2. 挨拶	支所長から部会開催の趣旨、亜熱帯水産業の現状・問題点について説明。
3. 座長の選出	座長に石垣支所長を選出。
4. 協議事項	
（1）研究開発の実施状況に関すること	出席した3機関から、実施中の研究開発課題について概要説明、並びに質疑応答を行った。
（2）研究開発の成果に関すること	研究開発成果情報の候補として、沖縄県水産海洋研究センターから「沖縄県で発症した養殖魚介類の疾病種類と発症時期」と「石垣島名蔵湾周辺海域の水産重要魚類の分布」、西海区水産研究所石垣支所から「南西諸島及び小笠原海域のハマダイの系群構造」と「アミメノコギリガザミのDNA鑑定」の合計4課題が提出され、各機関から説明があった。質疑応答・意見交換の結果、一部表現を修正の上、すべてを研究開発成果情報候補として西海ブロック推進会議へ上げることとした。
（3）研究開発のニーズと具体的な取り組みに関すること	17年度研究ニーズ ア)「ハタ類（スジアラ）の種苗生産における初期減耗防除」については、同種初期減耗要因解明の実験を八重山栽培技術開発センターで実施したことを報告するとともに、引き続き初期減耗防除に関する研究を継続し、情報提供・連携協力等に努めることとした。 イ)「沖縄県在来および外国産クビレツタのDNA解析による分類学的研究」については、沖縄県水産海洋研究セン

議 題	結果の概要
<p>(4) その他必要と認められる事項に関すること</p> <p>5. その他</p>	<p>ターと協力し、沖縄産と外国産のクビレヅタのサンプルを入手し、クビレヅタ専門家の協力も得て、現在分析中であることを報告し、今後分析結果を精査し、沖縄県水産海洋研究センター等と連携し、沖縄産クビレヅタとフィリピン産に遺伝的差異があるかどうかを明らかにすることとした。</p> <p>平成18年度研究ニーズ 本年度は、亜熱帯水産業研究部会での協議を求めたニーズが無かったため、各県から提出されたニーズ一覧を参考として示した。</p> <p>西海ブロックの部会構成に関する再編について、これまでの経緯、再編案について説明を行った。提案された部会構成について、異論は無かった。</p> <p>特に提案事項は無く、閉会した。</p>